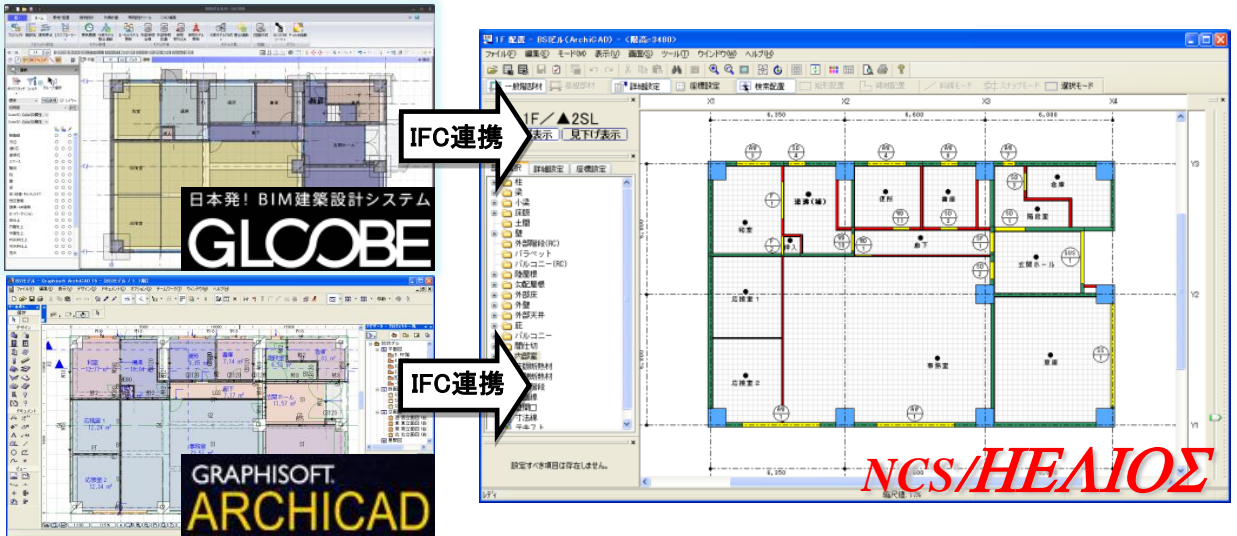


BIMの本格普及を目指し、IFC連携を実現！

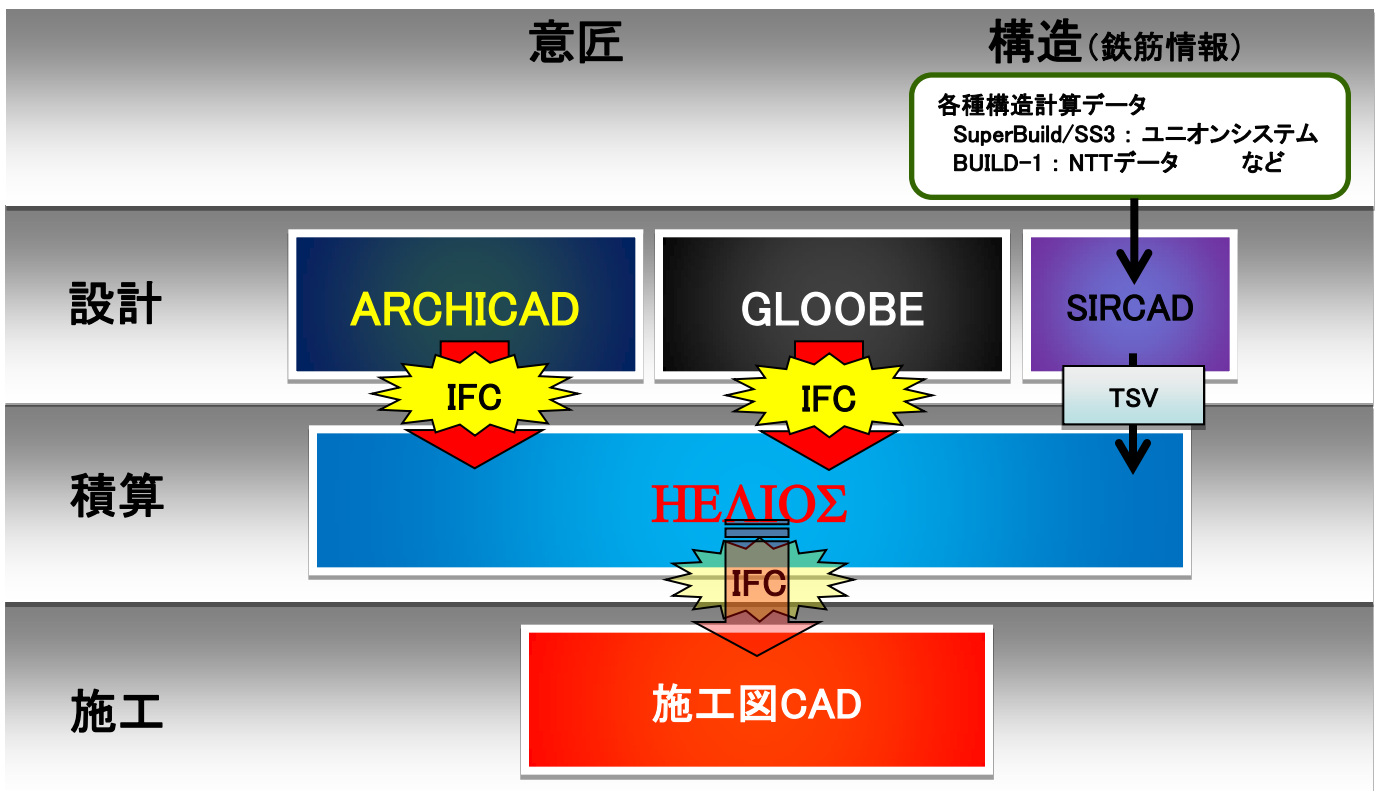
国内のBIM(Building Information Modeling)普及拡大を目指し、建築数量積算・見積書作成システム「HEAIOΣ」(株式会社日積サーベイ)は、建築設計システム「GLOOBE」(福井コンピュータ株式会社)、および3DCADシステム「ArchiCAD」(グラフィソフトジャパン株式会社)とIFC連携を実現し、BIMを検討されているゼネコンや建設会社の設計部、積算部、各種設計事務所へのBIMソリューション提案を開始します。



建物/構造/開口/仕上等の各オブジェクト連携を実現。この連携により、意匠設計データから、IFC経由で建築概算数量が算出できるだけでなく、建築数量積算基準に基づく実施詳細積算まで、一連のデータが継ぎ目なく連動できるようになり、各設計レベルの作業性の向上と大幅な業務効率化が可能となります。

●運用提案

この度の連携により、従来の機能も含めて下記の運用方法を提案致します。



● 連動可能なオブジェクト

日本発! BIM 建築設計システム

GLOBE

柱・梁・床

壁

スペース

ゾーン

開口

仕上

GRAPHISOFT

ARCHICAD

柱・梁・床

壁

ゾーン

開口

仕上

NCS/HEAIOΣ

柱・梁・床

壁・内部室

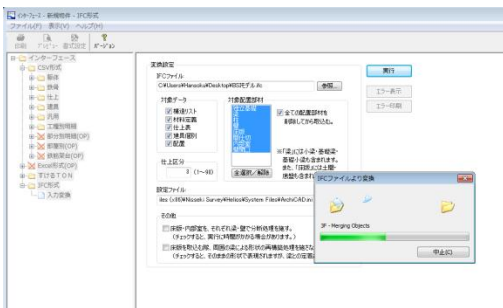
開口

仕上

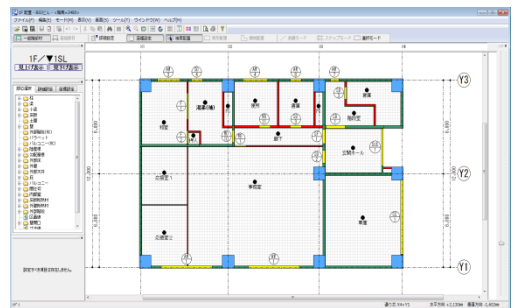
- 建物情報
 - ・階情報
 - ・通り芯オブジェクト
 - ・スペースオブジェクト
- 構造情報
 - ・柱オブジェクト
 - ・梁オブジェクト
 - ・壁オブジェクト
 - ・スラブオブジェクト
 - ・基礎オブジェクト
- 開口情報
 - ・開口オブジェクト
 - ・ドア/窓
- 仕上情報
 - ・内壁仕上オブジェクト
 - ・床オブジェクト
 - ・天井オブジェクト
 - ・幅木オブジェクト
 - ・廻縁オブジェクト

● HEAIOΣ イメージ

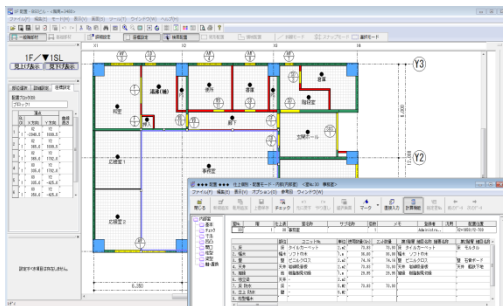
IFC読み込みイメージ



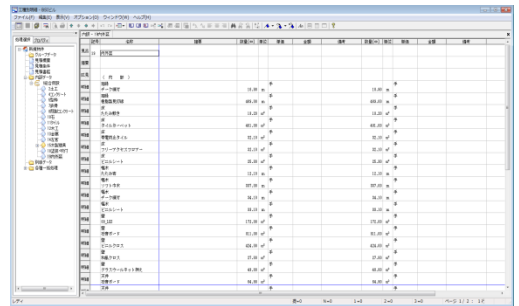
配置イメージ



仕上数量表示イメージ



見積書作成イメージ



※ IFCは、国際組織IAI(International Alliance for Interoperability) によって策定された3次元建物モデルデータの標準規格です。BIMデータをソフトウェア間で連携する際の標準データ規格として注目されています。このIFCでは、建物の様々な属性や、空間的な位置、部材同士の接続関係が表現されており、これによって構造計算ソフトや積算ソフト等の連携が可能となります。